

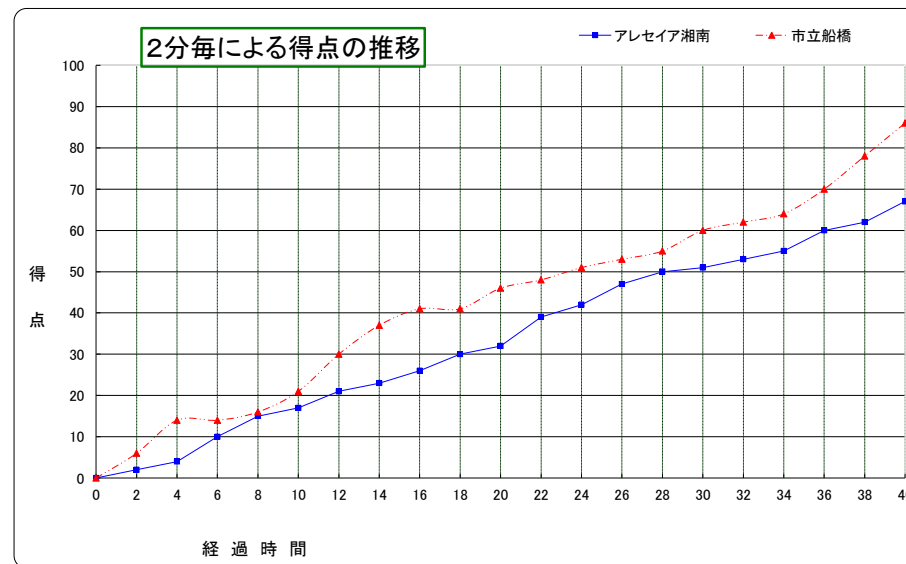
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
春日部ウイングハット
2回戦

チームA			チームB
アレセア湘南 (神奈川)	67	{ 17 1st 21 15 2nd 25 19 3rd 14 16 4th 26 }	86
		}	市立船橋 (千葉)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	更科 幹	17	0	9	5	15	7	11	1	0	2	3	3	0	1
5	草柳 陸	2	0	0	1	2	0	0	3	0	2	1	0	0	1
6	キング 開	27	3	8	8	23	2	6	3	7	8	8	2	0	2
7	エマニエルオヌアブチ	6	0	0	3	3	0	1	5	3	1	0	0	0	3
8	畑 遼平	1	0	1	0	4	1	4	4	2	2	3	2	0	1
9	萩野慎太郎	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
10	菅澤 翔斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	高橋 憲	0													
12	長谷 海図	6	0	1	3	6	0	4	3	1	2	1	0	0	2
13	清野 盛男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
14	畑山 太誠	0													
15	杉山 碧	6	0	0	2	3	2	4	5	4	5	1	1	4	3
16	本田 大河	2	0	6	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0
17	豊田 智己	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
18	望月 瑠星	0													
コーチ	小田島 誠														
		67	3	26	23	58	12	32	26	23	24	18	8	4	14
		確率		11.5%		39.7%		37.5%		計	47				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	俣泉 遼	11	1	7	2	9	4	4	3	5	2	1	7	1	4
5	庄司 理宇	19	0	1	7	14	5	13	3	4	9	1	5	0	4
6	薬丸 侑平	18	3	8	3	8	3	4	3	0	3	2	0	0	5
7	野崎 由之	15	3	6	2	5	2	2	5	3	5	0	2	1	4
8	後藤 恵悟	1	0	0	0	1	1	2	4	1	3	1	0	0	4
9	星野 怜	0													
10	佐々木賢太	0													
11	長根 泰斗	0													
12	衛藤 崇	0													
13	市場 遥樹	0													
14	兼重ノトリック	13	0	1	4	10	5	6	4	8	9	1	2	1	5
15	三上 颯斗	0													
16	富田 将希	0													
17	碓氷 真吾	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
18	大澤 響生	7	0	2	3	4	1	2	1	1	5	0	0	0	2
コーチ	近藤 義行														
		86	7	25	22	52	21	33	23	29	42	6	17	3	30
		確率		28.0%		42.3%		63.6%		計	71				



戦評

1回戦は共に快勝した両チーム、高さに勝るアレセアとサイズは無いが全国大会常連の経験を持つ市立船橋の対戦。

第1P、マンツーマンディフェンスで守る市船、1-3-1ゾーンで守るアレセアに対して、#6・#7の3Pでペースをつかむ。しかしアレセア#8が入り流れが変わる、#6の1対1・#15のミドルシュート・#4のドライブイン等で追い上げ、#6の3Pで残り2分、15-16の1点差。しかし市船もディフェンスリバウンドを頑張り速攻を決めリードを維持する。アレセアは2mの#7が3ファウルが気になる。

第2P、#7がゴール下を決めて反撃のムードが高まるアレセア、しかしその直後に#7は4ファウルさらにテクニカルファウルで退場となる。ディフェンスをマンツーマン変えるが、市船のカットインが決まる。さらに#7の3P等で突き放す市船、ビッグマンの抜けたアレセアは#4の外角シュート#6のドライブインで対抗するが、チームオフェンスでは市船の合わせの巧さが目立ち、点差は二桁に広がる。

第3P、アレセアはゾーンプレスを仕掛け、市船のミス誘い点差を一けたに縮める。さらに#6がドライブイン・3Pで攻め、#15がリバウンドを確保し、残り4分47-53。市船タイムアウトで流れを変えたいところ。しかしアレセアはジュニアで全国大会の経験を持つ#15・#16の1年生がチームを落ち着かせ、#6がアグレッシブに攻めることで猛追する。市船は合わせのプレイが少なくなり、ドライブから単独での苦しいシュートが多くなる。それでも要所で#4の3Pが決まり追い上げをかわす。

第4P、アレセアは#15が4ファウルでベンチスタート。リバウンダー不在となり、市船#4がリバウンドを奪う。後のないアレセアは#15をコートに戻す。両チームともにディフェンスを頑張り、9点差のまま4分が経過する。均衡を破ったのは市船、速攻を決め55-66となり、アレセアがタイムアウト。アレセア#4ファウルをもらい2シュートを決め8点差と詰め寄るが、#15が5ファウル退場。インサイド・リバウンドの2本柱を失ったアレセアは苦しい展開。#4・#6が果敢に1対1を試みるが、ここにきてサイズでも市船が上回る状況となる。最後までボールを奪おうとプレスをかけるアレセアから市船が徐々にリードを広げ逃げ切った。

記入者:井上裕史

Ref

山崎 人志

1st U

小原 宏太

2nd U